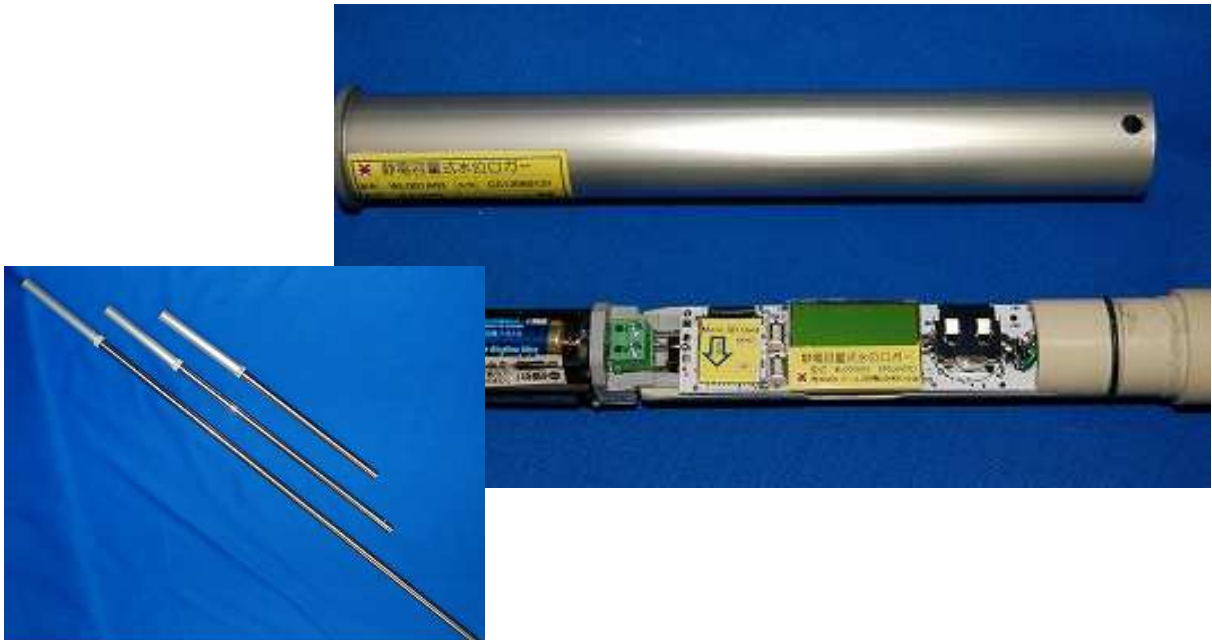




静電容量式水位ロガー（WLG シリーズ）

取扱説明書

Rev 141 2015年6月



V141:SD カードチェック LCD メッセージマイナー変更 WTL_LGR_102



株式会社 シーエス特機

<http://www.cstokki.co.jp> e-mail:info@cstokki.co.jp

気象水文センサー 特注電子機器 開発設計製造販売

本社 〒065-0024 札幌市東区北24条東8丁目3-25

TEL : 011-748-1322 FAX:011-748-1323

東京事務所 〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-30-17

TEL 042-339-7022 FAX 042-339-7023

1. 概要.....	3
2. 操作説明.....	4
2-1 ロガ部カバーの開け方閉め方.....	5
2-2 測定開始方法.....	6
2-3 測定停止方法.....	7
2-4 測定インターバルの設定方法.....	8
2-5 測定中のデータ確認方法.....	9
2-5 データの回収方法(SDカードの交換).....	10
2.5.1 SDカードについての知って頂きたいこと.....	10
2.5.2 マイクロSDカード交換(方法1).....	11
2.5.3 SDカード交換(方法2).....	12
2-6 マイクロSDカードのチェック.....	13
2-7 内部時計(RTC)合わせの方法.....	14
2-8 電池交換方法.....	15
2-8-1 時計用電池交換(RTC用電池交換).....	15
2-8-2 動作用電池交換.....	16
2-8-3 動作用電池ホルダーごとの交換.....	17
2-9 記録データの見本.....	18
3. 設置方法.....	19
4. 仕様.....	20
5. 製品保証規定.....	21

1. 概要

高分解能,高精度の水位測定データロガーです、
静電容量方式のタイプで、下記の特徴があります

- 水位 0.3m 0.5m 1m 1.5m 2mの5タイプ
- データ回収が簡単
マイクロSDカードを交換
SDカードはFAT32対応で4GB以上の最新のSDカードも使用可能です
- CSV形式で記録 PCでエクセルにてデータ閲覧可能
(特別な読み込み変換ソフト、閲覧ソフトが不要でPCで閲覧可能です)
- 電池交換が簡単 2種類から選択可能
単4電池3本 入手が容易
- LCD表示付きで
インターバル変更、現在値の確認
内部時計合せが可能です

2. 操作説明



操作スイッチ (MENU、SEL の2つ)

長押し：sleep 状態から起動します

運用時の操作方法：

測定開始：MENU スイッチを長押しします
(測定停止中なら長押しで測定開始)

測定停止：MENU スイッチを長押しします
(測定中ならば長押しで測定停止)

その他の設定操作項目：

測定開始後における操作項目：

測定停止操作、現在測定値、データ保存数の確認

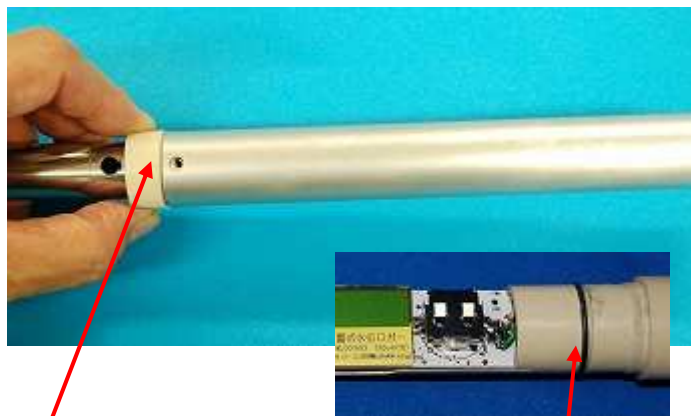
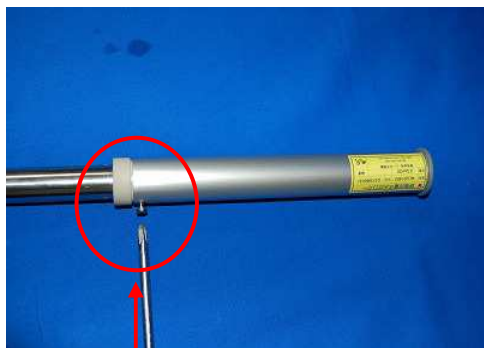
測定停止時における設定項目：

測定開始操作、
測定間隔 (インターバル) 設定、内部時計設定
SD カードの動作チェックが出来ます

操作スイッチの長押しで計測開始、停止、インターバル変更、各種項目を表示します。

無操作まま待つと sleep 消灯します

2-1 ログ部カバーの開け方閉め方



首樹脂とステン管をしっかり押さえながら、ログ部トップカバー（アルミ管）を回しながら外します

Oリング
防水構造となっており
設置時のうっかり水没に対応
水没状態での使用は保証出来ません
（現時点未確認）

手順：

- 1：ネジを外す
- 2：根元の首樹脂とステン管を押さえる
（次の改良タイミングより上記の規制を改良します）
- 3：ログ部トップカバー（アルミ管）を回しながら
ゆっくり抜く

（内部に：Oリングが有り、きつめになっております、シリコンオイルを塗るとスムーズになります。）

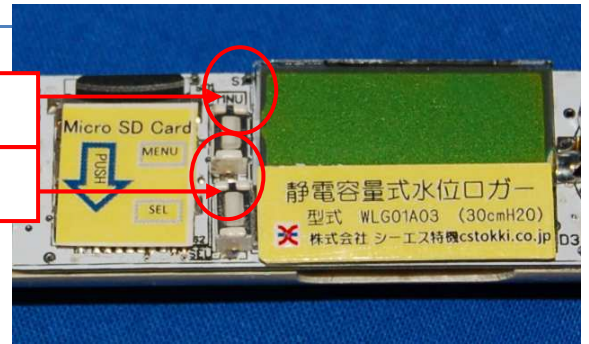
閉める場合は上記を逆手順でゆっくり回しながら納め、孔位置を合わせてビスで締めます

2-2 測定開始方法

MENU スイッチ

SEL スイッチ

測定開始前に、
測定条件である測定インターバルを設定しておきます
(2-3 参照)



<測定開始 手順>

手順:

1: **[MENU]** スイッチを押します、年月日時刻が表示されます
表示されない場合は再度 **[MENU]** を押します
(無操作でそのまま放置すると **sleep モード** に戻ります)

2: **[MENU]** スイッチをそのまま長押しします、
右図の様に表示し“START?”表示がフラッシュします
そのまま2秒長押しすると
2行目 **REC:RUN** と表示され測定が開始されます

フラッシュ直後に長押しを中止すると
REC:STOP と表示され測定が中止されます

表示例:

ITV 1MIN: インターバル 1分間隔毎測定記録
ITV 5MIN: インターバル 5分間隔毎測定記録
ITV10MIN:インターバル 10分間隔毎測定記録
ITV30MIN:インターバル 30分間隔毎測定記録
ITV60MIN:インターバル 60分間隔毎測定記録

同様の操作にて、すでに測定開始済の場合は
逆に測定が停止します



MENU
スイッチ
長押し

長押しを途中で中止すると



測定が中止された



測定が開始されました

2-3 測定停止方法

<測定停止 手順>

手順：

1：「MENU」スイッチを押します、現在データとそれまでの記録済のデータ数が表示されます
その後現在年月日時が表示されます

表示されない場合は再度「MENU」を押します
(無操作でそのまま放置すると **sleep モード** に戻ります)

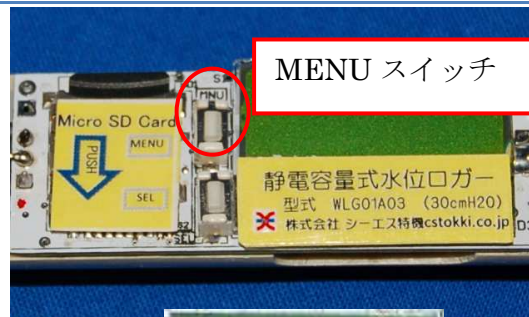
2：「MENU」スイッチをそのまま長押しします、
右図の様に“STOP?”をフラッシュ表示
そのまま長押しすると
“REC:STOP”と表示し測定が停止します

フラッシュ直後に長押しを中止すると
REC:RUNと表示され測定が継続されます



測定が継続される

長押しを途中で中止すると



現在水位データ mmH2O 測定済データ総数を表示



現在時刻を表示



フラッシュ表示



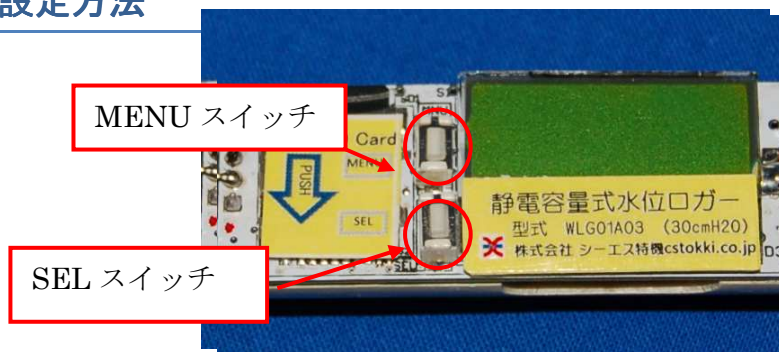
測定が停止される

MENU
スイッチ
長押し

2-4 測定インターバルの設定方法

“測定インターバル設定”は
測定(ロギング)開始前に行います、測定開始後
では一度測定停止操作後に行います

(例えば、測定インターバルを 10 分に設定
すると、10 分ごとに sleep 状態から wake し
測定記録します)



<測定インターバル設定手順>

測定が停止状態でを行います

手順:

- 1: 「MENU」スイッチを押します、内部時計が表示されます
(無操作でそのまま放置すると **sleep モード** になります)
- 2: 「MENU」スイッチを押すたびに順に下記が繰り返し表示されます

INTERVAL SET? (インターバル設定)
RTC TIME EDIT? (時刻合わせ設定)
SD CARD CHECK? (SD カードのチェック)
CANCEL EXIT? (キャンセル)

INTERVAL SET? 表示中に「SEL」スイッチを押すと
インターバルの設定モードに入ります

INTERVAL NOW 5MIN など現在の設定を表示します
変更したくなければ無操作のまま放置します

- 3: ここで「MENU」スイッチを押すたびに
1 MIN⇒5MIN⇒10MIN⇒30MIN⇒60MIN⇒1 MIN
と順に繰り返し表示されます

- 4: 希望のインターバル値表示中に「SEL」スイッチを
押すと

INTERVAL SETMIN** と表示され設定されます

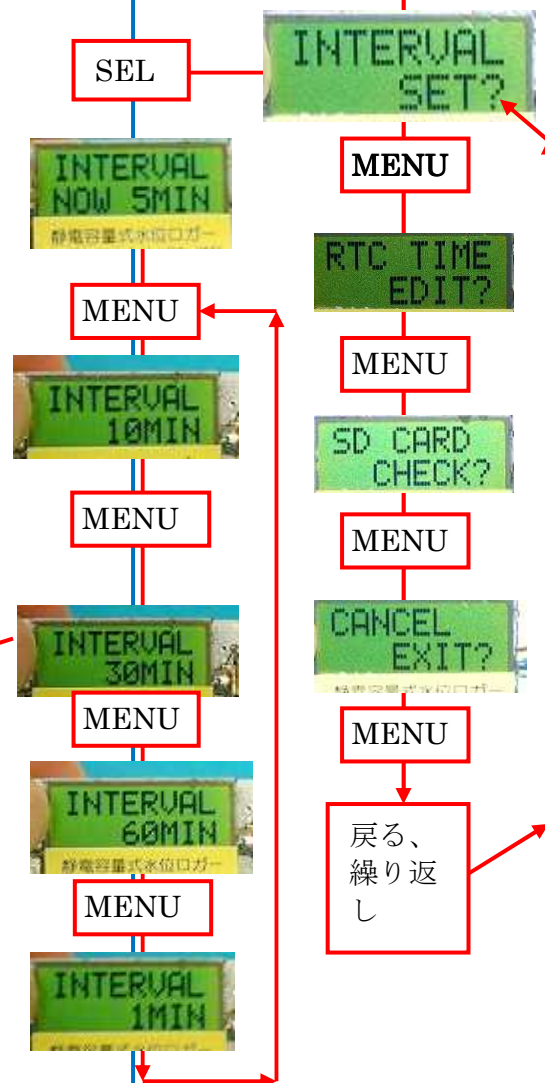
下記例では

INTERVAL SET 30MIN と表示し設定されました



SEL
確定

無操作でそのまま放置すると時計表示後 **sleep モード** に戻ります



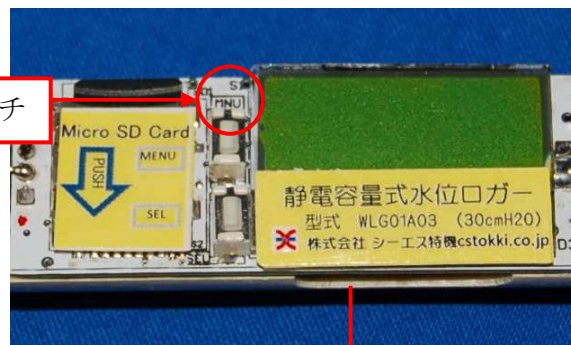
2-5 測定中のデータ確認方法

測定開始後にデータを確認する方法は

「MENU」 スイッチを押します

MENU スイッチ

(測定開始後のデータ確認方法は V1.0 では準備されていません Ver1.1 以降の予定)



<測定データの確認手順>

手順:

1: **「MENU」** スイッチを押します

現在値を測定し表示します

同時に、測定開始以降の現時点までの測定データ数

(測定記録回数と同じ) を表示します

図の例では

DAT+153 : 現在水位 153mmH2O

LOG00001 : 測定データ数 1 個

(無操作でそのまま放置すると時計を表示し

sleep モードになります)

表示操作中に測定時刻となった場合、測定記録が優先され

そのときの操作が無効となり、表示が消え、スイッチ操作が無視されます

その場合はしばらく (数秒後) 再度操作をお願いします



2-5 データの回収方法（SDカードの交換）

測定中のSDカード交換方法には3通りあります

方法1手順:

- 測定を停止する
- マイクロSDカードを交換
- 測定を開始する

方法2手順:(次回測定までに十分に時間がある場合)

- マイクロSDを交換

2. 5. 1 SDカードについての知って頂きたいこと

<メモ:使用できるマイクロSDカード>

- 1: 市販の**マイクロSDカード**が使えます
(4G以上のFAT32規格品も含めて使用できます)
- 2: 低速で旧設計品が消費電流が少ない傾向にあります。
(日本製の最新品、スピードクラス4は消費電流が多い傾向があるようです)
- 3: SDカードはPCにてFORMAT済みを使います、
本機のロガーにはFORMAT機能は
ありません。

<メモ:マイクロSDカードのメモリサイズ>

- 1回の測定に使用するメモリ数は約35バイト程度です
- 4Gバイト品では $4 \times 10^9 / 30 = 120 \times 10^3$ 回相当です
- 10分インターバルでは2年以上のメモリ容量となります(電池が先に空になります)

<メモ:マイクロSDカードのファイル名>

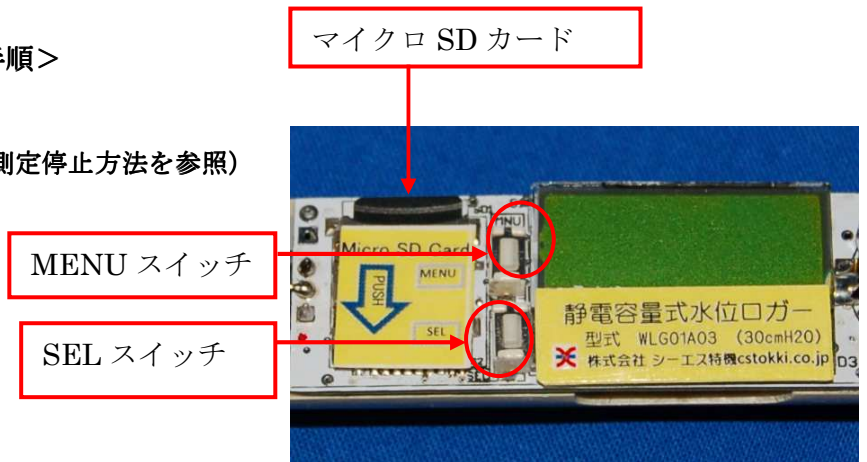
- 保存ファイル名は測定開始時の年日付になります
- 同じSDカードで測定停止、測定開始を繰り返すと、日付名の複数ファイルが保存されます
- 同日に測定停止、測定開始を行うと、同日名の同名ファイル内にデータカウンタが'0'から始まる、データがアペンド(後付け追加)されて保存されます

2. 5. 2 マイクロ SD カード交換（方法 1）

<最も安全な SD カードの交換手順>

手順：測定を停止する（2-3 測定停止方法を参照）

マイクロ SD カードを交換
SD カードをチェックする
測定を再度手動で開始する
（2-2 測定開始方法参照）



<SD カードの交換手順>

準備：測定を停止する（2-3 測定停止方法を参照）

測定が停止状態で以下を操作します

手順：

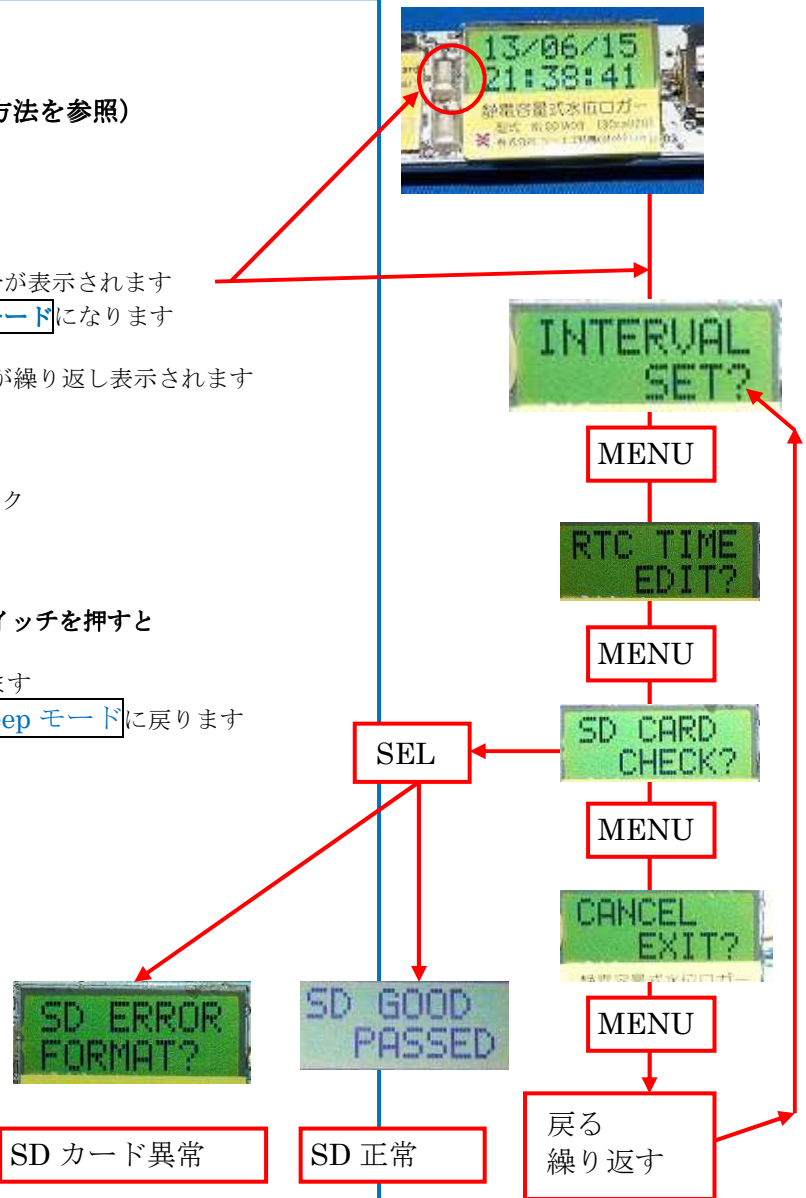
- 1：「MENU」スイッチを押します、内部時計が表示されます
（無操作でそのまま放置すると **sleep モード** になります）
- 2：「MENU」スイッチを押すたびに順に下記が繰り返し表示されます

INTERVAL SET? (インターバル設定)
RTC TIME EDIT? (時刻合わせ設定)
SD CARD CHECK? (SD カードのチェック)
CANCEL EXIT? (キャンセル)

SD CARD CHECK? 表示中に「SEL」スイッチを押すと
SD カードがチェックされます

NO ERROR SD GOOD 表示を確認します
無操作でそのまま放置すると時計表示後 **sleep モード** に戻ります

SD ERROR FORMAT? と表示の場合は
SD カードに異常が検出されました
PC にて再フォーマット等行って下さい
SD カードの交換も検討下さい



2. 5. 3 SD カード交換（方法2）

< 次回測定まで十分に時間のある場合 >

< SD カードの交換手順 >

手順：

< 次回測定までに十分に時間がある場合 >
SD カードを抜き新しい SD カードと交換します

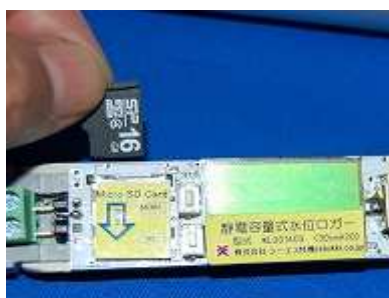
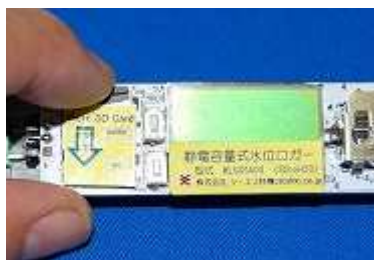
交換する SD カードは事前に

1: PC にて FORMAT しておくこと

2: [2-6 マイクロ SD カードのチェック](#)にて
事前にチェックしておく

方法1が最も安全、確実な方法です。

取り出す時: PUSH

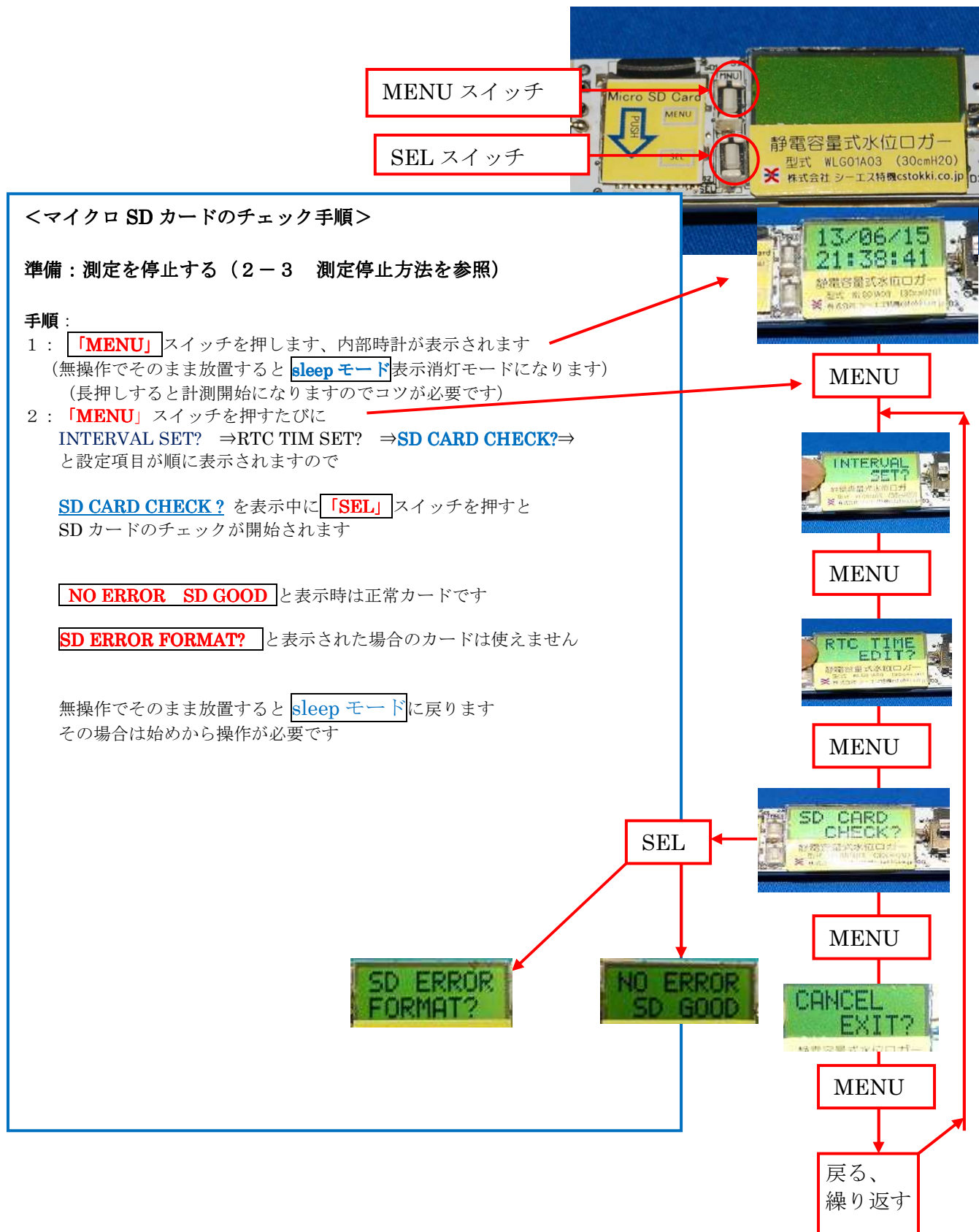


差し込む時も：PUSH

2-6 マイクロ SD カードのチェック

(2.5.2 マイクロ SD カード交換 も参照下さい)

測定開始前(測定停止状態)にて SD カードのチェックを行います

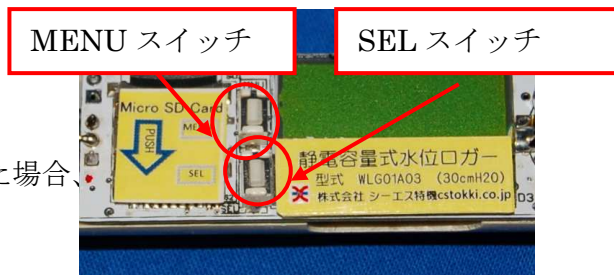


2-7 内部時計 (RTC) 合わせの方法

内部時計の再設定が必要な場合

内部時計のズレを修正する場合、
動作電池が切れた状態で何年も放置した場合、
時計電池の交換時誤って、動作電池を外してしまった場合、

通常動作電池がある場合時計電池は消耗しません



< RTC の設定手順 >

手順:

1: 「MENU」スイッチを押します、内部時計が表示されます
(無操作でそのまま放置すると **sleep モード** 表示消灯モードになります)

2: 「MENU」スイッチを**長押し**します、**設定モード**に切り替わります
「MENU」スイッチを押すたびに
LOGIN START? ⇒ INTERVAL SET? ⇒ **RTC TIM SET?** ⇒
SD CARD CHECK? と設定項目が順に表示されますので
RTC TIM SET? を表示し

RTC TIM SET? を表示中に「SEL」スイッチを押す
ブラックカーソル付きの年月日時刻が表示されます

3: ここで「SEL」スイッチを押すたびに
ブラックカーソルの**位置が移動**します
ここで修正したい位置に**ブラックカーソル**を移動します

4: ここで「MENU」スイッチを押すたびに
カーソル位置の表示値が増えます、**長押し**するとさらに
早く増加します
希望値近くからゆっくり「MENU」スイッチを押して
希望値に合わせます

ここで「SEL」を押すと次のカーソル位置に移動し
「MENU」スイッチ押し希望値に調整します
終了時そのまま無操作で待つと

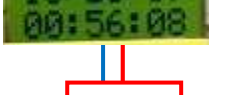


RTC TIME SET DONE と表示され変更が反映されます



値の変更が無いまま無操作で待つと

RTC EDIT CANCEL と表示され変更が取り消されます



2-8 電池交換方法

動作電池と時計用電池の2種類使われております

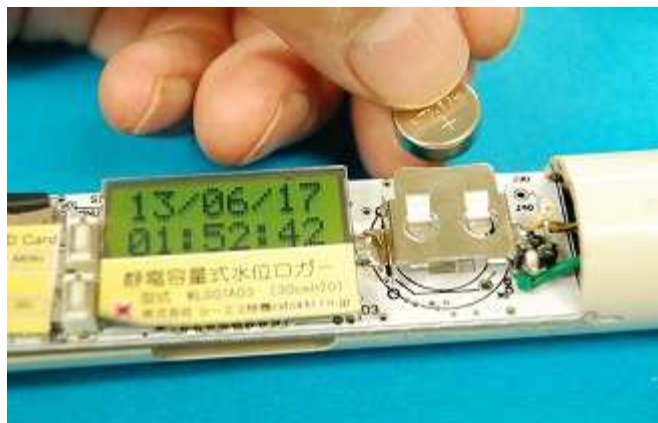


動作電池の電圧が十分高い場合は、内部時計は動作電池で動いており、時計電池を消耗しません
長期の使用後、保管後には時計電池の交換が必要になります。

2-8-1 時計用電池交換 (RTC 用電池交換)

電池：LR44 又は SR44 ホームセンタ等で求められます

- 1：測定を停止する（2-7 測定停止方法参照）
- 2：新しい電池に交換する



注意

1:動作電池を付けたまま、又は時計電池を交換すると、時計にも電源が供給され続けます

2:古い電池を抜くとき、金属以外の割り箸等で反対側から押し取り出し、交換します
ショートすると、内部時計は初期化され、時刻合わせが必要になります

2-8-2 動作用電池交換

電池：単4 アルカリ電池（panasonic 製上位モデル 1200mAh 程度）
単4 ニッケル水素電池

参考：サンヨー エネループ（自己放電が少ない 充電式 750mAh）
パナソニック エボルタ ニッケル水素（1年後 自己放電20%程度）
（従来のニッカド ニッケル水素は自己放電が多く、ロガーには向きません）

手順：

1：測定を停止する（2-7 測定停止方法参照）

2：単4 アルカリ電池3本を交換する

3：充電式ニッケル水素電池



注意

- 1：+-を間違えないこと、バネ側が一極
- 2：3本とも同時 新旧を混ぜて使わない

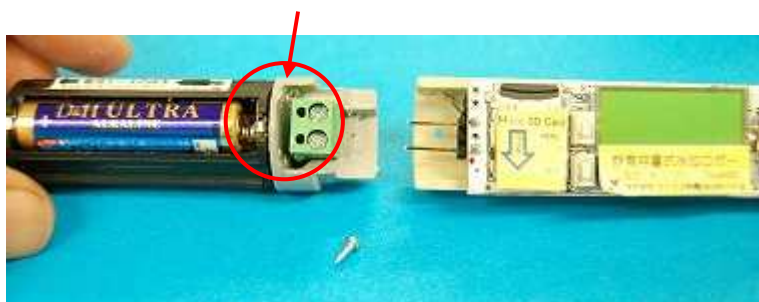
出荷時に付属の電池はテスト用です、出荷前の社内検査等で使用済です

2-8-3 動作電池ホルダーごとの交換

ホルダー固定ネジを外す



電池出力コネクタネジを緩めで外す



2-9 記録データの見本

記録マイクロ SD のディレクトリのイメージ例を示します

CSE	2013/06/17 2:24	ファイルフォル...	
20000000.CSV	2013/06/13 18:45	Microsoft Office ...	1 KB
20030303.CSV	2013/06/13 17:55	Microsoft Office ...	1 KB
20130611.CSV	2013/06/12 0:20	Microsoft Office ...	2 KB
20130612.CSV	2013/06/13 13:40	Microsoft Office ...	8 KB
20130613.CSV	2013/06/14 0:55	Microsoft Office ...	4 KB
20130614.CSV	2013/06/15 0:35	Microsoft Office ...	6 KB
20130615.CSV	2013/06/15 20:45	Microsoft Office ...	3 KB
20191919.CSV	2013/06/13 18:15	Microsoft Office ...	1 KB

各 CSV ファイルがデータファイルです

CSE のホルダーにはエラーチェックの結果、user の操作履歴が記録されております。

一般的なせつての PC 上では CSV ファイルを開くと自動的に下記のようにエクセルが立ち上がり、各セルにデータが表示されます

データの配列は左から順番に

測定時刻 (タイムスタンプ)、データカウンタ (連番 最大 65535)、水位データ (単位 mmH2O)

	A	B	C	D
1	2013/6/14 10:45	1	299	
2	2013/6/14 10:50	2	299	
3	2013/6/14 10:55	3	299	
4	2013/6/14 11:00	4	299	
5	2013/6/14 11:05	5	299	
6	2013/6/14 11:35	2	299	
7	2013/6/14 12:05	4	299	
8	2013/6/14 12:10	5	299	
9	2013/6/14 12:15	6	300	
10	2013/6/14 12:20	7	300	
11	2013/6/14 12:25	8	300	
12	2013/6/14 12:35	9	300	
13	2013/6/14 12:40	10	300	
14	2013/6/14 12:45	11	300	
15	2013/6/14 12:50	12	300	
16	2013/6/14 12:55	13	300	
17	2013/6/14 13:00	14	300	
18	2013/6/14 13:05	15	300	
19	2013/6/14 13:10	16	300	
20	2013/6/14 13:15	17	300	
21	2013/6/14 13:20	18	300	
22	2013/6/14 13:25	19	300	
23	2013/6/14 13:30	20	300	

測定時刻 (タイムスタンプ)

データカウンタ

データ

3. 設置方法

設置時の注意事項

- 1:最大水位がスパンマーカを越えない事
- 2:ゼロ点マーカとスパンマーカ間の水位を測定します
- 3:ステンパイプを支柱等に固定します
- 4:先端部は水の出入りを邪魔しない事
- 5:先端部のフィルターを適時清掃、交換する
一般水道の蛇口(呼径 16)用が使用出来ます



フィルター：水質によっては目詰まりします

対処方法：

ストッキング、換気扇用フィルター 網戸等を試して下さい

エア抜き

スパンマーカ

注：ゼロ点マーカが2本引かれている場合は最下位がゼロマーカです。その上のマーカは+10mmの試験マーカです。

ゼロ点マーカ

フィルター

4. 仕様

NO	項目	内容	
1	水位測定	測定範囲	0～1 mH2O (WLG01A01)
		測定精度 1	± (0.1%FS+2mm) (外気温度 25 ± 1 °Cにて)
			± (0.2%FS+2mm) (外気温度 0 ～ 6 °Cにて)
		測定精度 2 (水温誤差)	-0.14%FS/10°C水温 (暫定)
		リニアリティ	0.1%FS 以下 (暫定)
2	データ 保存 表示	ファイル形式	CSV 形式 エクセル、メモ帳で閲覧可能
		SD カード	マイクロ SD カード FT16、FAT32 対応 4 GB 以上も使用可能
		表示	8 桁 2 行 LCD 現在測定値 時刻 データ数等表示
		インターバル設定	1 分、5 分、10 分、30 分、60 分
3	最大データ保存	SD カード 4 GB にて 12 万データ以上 (10 分インターバル時 24 ヶ月相当)	
4	電源	電池	単 4 3 本
		電源消費電流	0.06mA (10 分インターバル時) 単 4 アルカリ電池で 400 日相当
5	動作環境	動作温度	0 ～ 60°C
		保存温度	-25 ～ 80°C
6	外形	センサー長	124cm (1mH2O モデル)
		取付パイプ径	19mm ステンレス
		ヘッド部	25mm φ

5. 製品保証規定

- 本製品の保証期間は納品から 1 年間です。
- お客様での組込作業に伴い発生した不具合は保証の対象外とさせていただきます。
- 取扱上のミス、雷、水没等天災などによる故障は保証の範囲外となります。
- 設置場所におけるいたずら、盗難などは保証の範囲外となります。
- 故障によるデータの欠落、接続される他の機器、システムに対するいかなる影響も保証の対象外とさせていただきます。
- 本製品の保証は、日本国内に限定させていただきます。